

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
食料科学分野の大型研究計画評価小分科会
(第24期第1回) 会議議事要旨

日 時： 2019(平成31)年4月22日(月) 13:00~14:30

場 所： 日本学術会議5階 会議室5-A(港区六本木7-22-34)

出席者： 甲斐 知恵子, 澁澤 栄, 清水 浩, 丹下 健, 萩原 篤志, 眞鍋 昇, 熊谷 日登美
都木 靖彰(スカイプ参加)

欠席者： 石塚真由美, 高井伸二

1. 本小分科会の位置づけ(丹下健委員)

丹下委員(研究計画・研究資金検討分科会委員)から, 本小分科会の位置づけについて説明があった。

丹下委員は評価には加わらないこと, 澁澤委員は自身の申請課題の評価は行わないことも説明された。

2. 自己紹介

各委員が, 自己紹介を行った。

3. 役員の選出

以下のように, 役員が選出された。

委員長： 眞鍋昇委員

副委員長： 清水浩委員

幹事： 萩原篤志委員, 熊谷日登美委員

4. 本小分科会の運営方針(眞鍋昇委員長)

議事録要旨は, 委員長が確認し提出することとする。

情報の共有のため, メーリングリストを作成する。

6月17日以降, 小分科会を開催する。

5. 利益相反についての考え方(丹下健委員)

小分科会での審議内容および申請書の内容は守秘義務がある。審議内容は非公開である。

密接に関わっている提案の審議には, 参加しない。

誰がどの審査をしなかったかというリストは, 小分科会委員に開示する。

6. 審査方法

課題の種類

区分Ⅰ： 新規提案あるいはマスタープラン2017に掲載され今回改定された提案
(本小分科会では, 主課題5件, 融合領域課題1件, 副課題1件)

区分Ⅱ： マスタープラン2017あるいはそれ以前のマスタープランに掲載され,
現在実施中の計画(本小分科会の課題には該当なし)

評価方法

- 3段階の絶対評価： 平均値が2となるようにする。
特に高い場合は3，低い場合は1とする。
- 6段階の相対評価： 大型研究に相応しくないものは1あるいは2
残った課題について，3～6の点数を付ける。

区分Ⅰ（主課題）： 3段階の項目評価（絶対評価）と6段階の総合評価（相対評価）を行う。

副領域が指定されている課題（課題22および25）

課題22は，基礎生物学に副審査を依頼する。

課題25は，農学に副審査を依頼しない。

融合領域： 3段階の項目評価（絶対評価）と3段階の総合評価（絶対評価）を行う。

複数の分野で審議する。

本小分科会では順位付けはせず，融合領域評価小分科会で順位付けをし，
研究計画・研究資金検討分科会上がる。

区分Ⅰ（副課題）： 3段階の項目評価（絶対評価）と3段階の総合評価（絶対評価）を行う。

副評価は，主評価の**小分科会での順位付け**の参考資料となる。

7. 取りまとめの審議の方法の決定

各委員の評価結果が集まった段階で，結果をまとめてメールで回す。

結果を見て，委員長が，第2回小分科会を開催するかどうかを決定する。

8. 審査スケジュール

4月中下旬： 小分科会委員へ応募書類の送付

5月17日： 融合領域1件の審査結果を事務局へ送付

6月17日： 区分Ⅰ（主課題5件および副課題1件）の審査結果を事務局へ送付

6月28日： 必要な場合，第2回小分科会を開催

7月8日： 評価結果を事務局に送付

7月中下旬： ヒアリング対象を決める。

9月14日～16日： ヒアリング（眞鍋委員長，丹下委員）

以上